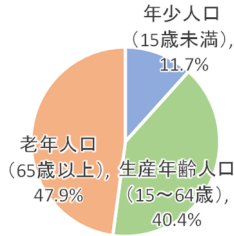


戸田 (へだ)

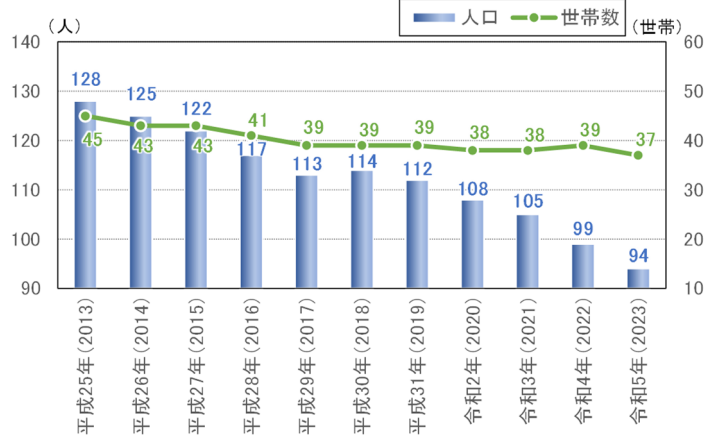
人口・世帯数等 (令和5年4月)

人口	94人
世帯数	37世帯
高齢化率	47.9%

年齢別人口割合



人口・世帯数の推移 (過去10年間)



区域の概要

立地 集落の北側を岸田川が北西に流れ、川を挟んだ観音山を背にして南側に田畑が広がる。東側を県道竹田指杭線、西側を主要県道浜坂井土線が走る。

地名由来 三谷、戸田、二日市にかけては古代の大庭郷であり、その「ほとり」に由来するとされる。また、大庭郷とその南の田公郷の「ほとり」にある田という説、川のほとりという説もある。(「たじま地名考」日本海新聞)

歴史等 観音山の山裾の尾根には、家形石棺を伴う戸田古墳があり、石室の部材が残っている。元亀3年(1572)に鳥取城主武田高信が芦屋城を攻めて敗れた庭中合戦は当地を中心に展開されたという。

近世の戸田村は、豊臣政権下では太閤蔵入地(豊臣氏の直轄地)で、江戸時代には、慶長10年(1605)旗本宮城氏知行、正保元年(1645)幕府領、寛文8年(1668)豊岡藩領、享保12年(1727)からは幕府領となった。家数は、宝暦10年(1760)30、嘉永元年(1848)36。天保5年(1834)の『但馬国郷帳』(天保郷帳)の村高は232石余。亀谷山山論は、当村と辺地・正法庵・高末・対田・久谷の5か村の入会山をめぐる論争で、寛永20年(1643)に始まり明治3年(1766)にまで及ぶ長期にわたる山論であった。

明治22年(1889)大庭村の大字となり、昭和29年(1954)からは浜坂町の大字となる。明治24年(1891)の戸数38、人口は男110・女115。昭和初期に岸田川の大改修が行われ、現在の流路になった。

これまで把握している文化財

文化財の件数 35件 (うち指定等文化財 0件)

大分類	中分類	小分類	把握件数	指定等
有形文化財	建造物	建築物	0	10
		石造物	0	
		工作物・その他の構造物	0	
	美術工芸品	彫刻	0	
		絵画	0	
		工芸品	7	
		書跡・典籍	0	
無形文化財	無形の無形文化財	古文書・歴史資料・考古資料	3	0
		音楽	0	
		演劇	0	
		工芸技術	0	
		その他の無形文化財	0	
		信仰の場	3	
		祭具	0	
民俗文化財	有形の民俗文化財	民具	0	7
		その他の有形の民俗文化財	1	
		年中行事・民俗芸能	3	
		民俗技術	0	
	無形の民俗文化財	食文化	0	
		民間説話・俗信	0	
		その他の無形の民俗文化財	0	
記念物	遺跡	古墳・その他の墓	14	18
		城館跡・寺社跡	2	
		街道・古道等	0	
		戦争遺跡	0	
		その他の遺跡	1	
	名勝地	山岳・高原・丘陵	0	
		海岸・海浜・島嶼	0	
		河川・滝・溪谷・湖沼	0	
		公園・庭園	0	
		その他の名勝地	0	
	動物・植物・地質鉱物	動物	0	
植物		1		
文化的景観	生活・生業・風土により形成された景観地	0	0	
伝統的建造物群	宿場町・城下町・農漁村等	0	0	



戸田神社



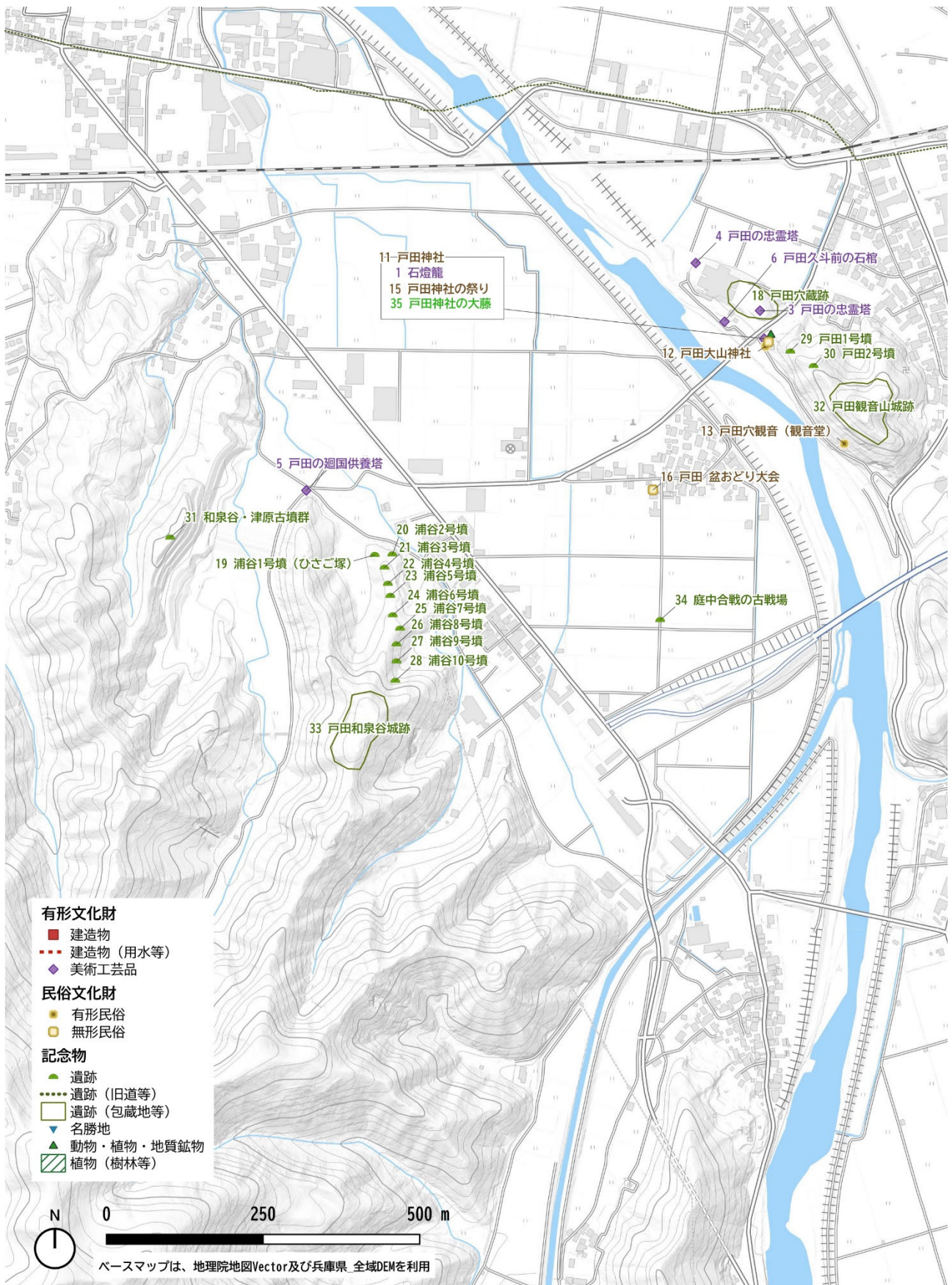
戸田穴観音



戸田久斗前の石棺

※人口・世帯数は住民基本台帳(令和5年4月現在)による。

文化財の分布



※所在地の掲載可能なものに限る

2-03 戸田

文化財の一覧

■ 有形文化財／美術工芸品

分類	番号	名称	概要
工芸品	1	戸田神社の石燈籠 (1928年建立)	昭和3年(1928)御大典記念として建立。氏神講社中寄進。石材は地場産のもの。竿の上に中台を受ける石が挟めてあるが、少しはみ出している。このような受台(装飾のためのかもしれない)をもつものは、宇都野神社(浜坂)や大家神社(二日市)にもあるが、他の地区には類例をみないため、この地方の特色とも考えられる。
	2	相撲取塚 (岩石七之助塚)	文政3年(1820)6月27日建立。施主飛鳥野勇七。漆原の手前にある。
	3	戸田の忠霊塔 (1943年建立)	大庭村が紀元2600年記念事業の一つとして建立したもの。敷地造成は昭和15年(1940)12月に着工し、昭和16年(1941)10月に完成。忠霊塔は昭和17年(1942)9月に着工し、翌年(1943)3月に完成した。
	4	戸田の忠霊塔 (1907年建立)	明治40年(1907)建立。西南戦争で亡くなった人の名が刻まれている。
	5	戸田の廻国供養塔	旧浜坂湯村街道沿いに建てられている廻国供養塔。碑面は摩耗しており、文字・建立年等は不明であるが、江戸時代の建立と思われる。
	6	戸田久斗前の石棺	組合式石棺の一部が祀られている。以前この場所に横穴式石室の古墳があり、刀や金属製の馬具が出土している(戸田穴蔵跡)。
	7	戸田穴観音の和鏡	平成元年(1989)に、戸田穴観音の観音像の台座下から直径20cmで9cmの柄がついた鏡(和鏡)が2面発見された。鏡には「藤原吉政」「天下位置藤原吉孝」の文字が書かれている。それぞれの人物は不明であるが、平家に関係のある人物が寄進したものではないかとも言われている。
古文書・ 歴史資料・ 考古資料	8	小林哲夫文書	概要不明
	9	小林与志雄文書	慶安2年(1649)亀谷山争、タタラ製鉄関係文書。
	10	戸田穴観音堂奉納四季発句	安政4年(1857)奉納。戸田の穴観音堂に懸額されている。願主は小林と左衛門で、浜坂・温泉地域の人々が四季発句を詠み献額したものである。55句あるが、劣化により判読困難な箇所が多い。

■ 民俗文化財／有形の民俗文化財

分類	番号	名称	概要
信仰の場	11	戸田神社	祭神は素戔鳴尊。創立年月は不明。八太荒神と称していた。明治3年(1870)に戸田神社と改称し、同6年(1873)3月(10月か)に村社に列せられる。大正元年(1912)に荒神社、依那神社を合祀している。
	12	戸田大山神社	近代社格は無格社。戸田神社に合祀。
	13	戸田穴観音(観音堂)	洞穴を利用して建てられ、本尊に観音像が安置されている。戸田で亡くなった平家落人を供養するために建てられたという言い伝えが残る。
その他の有形の民俗文化財	14	戸田の力石	力石は、古くは罪の重さを決める手段の一つとして用いられていたが、次第に石を持ち上げると願いが叶うという「石占い」として、神社の境内に置かれるようになった。この力石を持ち上げる行事は、昭和初め頃まで町内各地でさかんに行われていた。

■ 民俗文化財／無形の民俗文化財

分類	番号	名称	概要
年中行事・ 民俗芸能	15	戸田神社の祭り	9月26日に行われる。
	16	戸田 盆おどり大会	8月14日に公民館前で行われる。
	17	観音山祭り	4月18日に行われる。

■ 記念物／遺跡

分類	番号	名称	概要
古墳・ その他の墓	18	戸田穴蔵跡	古墳時代の古墳。忠霊塔建設時に、大刀・須恵器・馬具等の多数の遺物が出土。全壊。
	19	浦谷1号墳（ひさご塚）	古墳時代の古墳。全長23m、後円径15m、高さ1.5m、帆立貝型前方後円墳。円筒埴輪・須恵器片が出土。
	20	浦谷2号墳	古墳時代の古墳。横穴式石室・石組が露出。
	21	浦谷3号墳	古墳時代の古墳。円墳。
	22	浦谷4号墳	古墳時代の古墳。方形（階段状）。
	23	浦谷5号墳	古墳時代の古墳。方形（階段状）。
	24	浦谷6号墳	古墳時代の古墳。方形（階段状）。
	25	浦谷7号墳	古墳時代の古墳。方形（階段状）。
	26	浦谷8号墳	古墳時代の古墳。方形（階段状）。
	27	浦谷9号墳	古墳時代の古墳。方形（階段状）。
	29	浦谷10号墳	古墳時代の古墳。方形（階段状）。
	29	戸田1号墳	古墳時代の古墳。円墳、径8m。玉石が散乱している。
	30	戸田2号墳	古墳時代の古墳。円墳、径12m。玉石が散乱している。
	31	和泉谷・津原古墳群	古墳10基を調査した。古墳群は前期中頃・中期末と後期後半（町教委調査分）の3期に分かれ、前期と中期のものは一部重複していた。埋葬施設の木棺墓は前期のものが4か所で計13基と多く、土器枕や鉄剣などが出土した。中期の古墳は単一埋葬の4基で、土器がまとまって出土し、後期の埋葬施設からは土器・玉類・刀子が出土した。浜坂道路の建設で消滅。
城館跡・ 寺社跡	32	戸田観音山城跡	中世の城館跡。城は不連続に構築された小規模曲輪群からなり、全体的には南北朝期から室町期の様相を呈している。戦国期の改修はほとんど見られない。南北朝～室町期の小国人クラスの城郭と考えられる。位置的には、二日市集落を挟んで西ノ城の西側に位置し、これらの2つの城は、二日市集落の守備と七釜へ抜ける道の押さえであったと考えられる。
	33	戸田和泉谷城跡	中世の城館跡。城は古墳群を平坦に削平して、曲輪群を構築したもので、一部に堀切・堅堀も見られ、戦国期の改修がうかがえる。城は浜坂から湯村へ至る道を押さえる城と思われるが、一時的に村人は避難する「村の城」でもあったと考えられる。『但馬国にしかた日記』（弘治3年（1557））には、三谷村に「はし若狭殿」「小谷けん兵衛殿」「三谷殿」などの地侍層が居住しており、これらの地侍層に関係する城郭とも考えられる。
その他の遺跡	34	庭中合戦の古戦場	戦国時代の終わり頃、因幡国布施城主山名豊国と鳥取城の城主武田高信が勢力争いを行っていた。この頃、芦屋城主であった塩冶肥前守と武田高信は親戚関係にあったが、ふとしたことから犬猿の間柄となっていた。これを知った山名豊国は塩冶肥前守を味方に取り込んだ。これを知った高信は怒り、元亀2年（1571）芦屋城攻略のため但馬に進撃した。しかし、塩冶勢の反撃にあい、七釜城主、井土城主、黒坂城主などの軍勢が背後につき、武田勢は敗れた。塩冶勢はさらに追撃して、大庭田圃で武田勢と最後の戦いを行い、武田勢を打ち破った。戦死者の墓といわれる盛り墓が田の中に残っていた。

■ 記念物／動物・植物・地質鉱物

分類	番号	名称	概要
植物	35	戸田神社の大藤	戸田三柱神社の境内にある幹回り2.8mの大フジ。